

令和7年度 児童相談所関連研修

児童心理司(基礎) I

日 程

9月29日(月)・30日(火)

【2日間】

対 象

- (1) 児童心理司
- (2) 心理職として採用された職員【定員60名程度】

ねらい

児童心理司として求められる役割を理解するとともに、基礎的な知識・スキルを身につけ、面接・心理検査等を通じた子どもと保護者の状態の的確な把握、アセスメント及び他職種・他機関との連携によるケースへの対応力を習得する。

場 所

特別区職員研修所(東京区政会館別館)
(千代田区九段北1-1-4)

内 容

児童心理司としての基礎的な業務の理解、アセスメントの基礎とアセスメントに基づく心理所見の書き方について学びます。また解決志向面接の考え方を学び、実践するための演習を行います。

※研修カリキュラムは、裏面に掲載しています。

【問合せ先】特別区職員研修所 教務第2課 児童相談研修係
TEL: 03-6261-1576

カリキュラム

9月	教科目・講師名（敬称略）	内容
29日 （月）	<p>9：00～17：00</p> <p>児童心理司業務の基礎（講義） アセスメントの基礎（講義・演習） 心理所見の書き方（講義・演習）</p> <p>【講師】こども家庭庁 支援局 虐待防止対策課 こどもの心のケア専門官</p>	<p>公務員・行政職員として業務にあたる児童心理司の責務と役割を理解します。その上で、基本となる面接や電話対応について振り返ります。また、アセスメントの基礎となる心理検査を心理所見としてまとめる際のポイントを学びます。</p>
30日 （火）	<p>9：00～17：00</p> <p>解決志向アプローチ</p> <p>【講師】原宿カウンセリングセンター 所長 田中 ひな子</p> <div style="border: 2px solid orange; border-radius: 20px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>主な著書：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「まちにとけこむ公認心理師」 津川律子, 遠藤裕乃共編 日本評論社 (2023) ・「虐待・DV サバイバーにおけるレジリエンス」 臨床心理学, 22 (2) 特集「はじまりのレジリエンス」 金剛出版 (2022) ・「解離と出会うとき－アディクション臨床の現場から」 こころの科学 221, 特別企画「解離に出会うとき」 日本評論社 (2021) ・「実践アディクションアプローチ」 信田さよ子編著 金剛出版 (2019) </div>	<p>面接の進行や具体的な言葉の選び方について学び、実務で役立つ解決志向アプローチの技法を習得します。</p>
計	14時間（2日間）	

